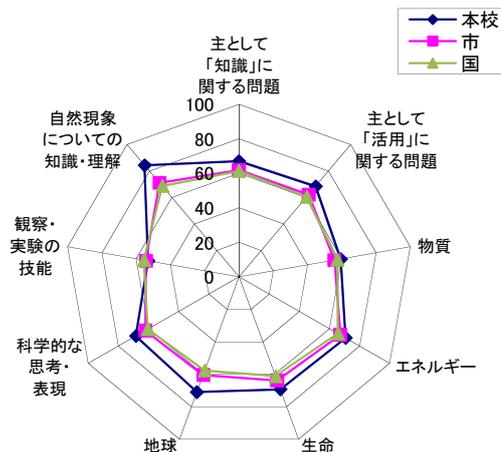


宇都宮市立海道小学校 第6学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
枠組み	主として「知識」に関する問題	67.0	61.9	61.3
	主として「活用」に関する問題	68.5	62.2	60.5
区分等	物質	59.4	55.7	57.4
	エネルギー	70.8	67.2	65.6
	生命	69.3	63.8	61.2
	地球	71.0	60.5	57.8
観点	自然現象への関心・意欲・態度			
	科学的な思考・表現	68.5	62.2	60.5
	観察・実験の技能	53.1	54.4	55.5
	自然現象についての知識・理解	84.4	71.1	68.6



★理科に関する質問紙調査の状況

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○ 12問中11の質問において、肯定的回答の割合は全国平均を上回っている。その中でも「授業で学習したことを普段の生活の中で活用できる」、「自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている」については90%を超えており、全国平均を20ポイント以上、上回っている。

● 理科の勉強が好きという質問について、肯定的回答の割合は81.2%で、全国平均を2.3ポイント下回っている。

★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の改善
物質	<p>○ 平均正答率は59.4%で、全国平均を2ポイント上回る。その中でも、水の温まり方について、実験結果から考え直す設問の正答率は、全国平均を10ポイント以上、上回る。</p> <p>● メスシリンダーの名前を書く設問の正答率は、全国平均を8.2ポイント下回る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 児童が関心の高さを示した課題解決学習を継続して行い、理科の学習の楽しさを味わわせる。 予想が正しいかを検証する実験や観察では、教科書に載っている方法に固執せず、児童の発想を大切に扱うことで理科の学習への興味・関心を高めさせる。 授業でグラフに示された内容から性質や現象を検証することを意識して取り上げ、思考力を育成する。
エネルギー	<p>○ 平均正答率は70.8%で、全国平均を5.2ポイント上回る。その中でも、電磁石の働きを利用した振り子が左右に等しく振れる導線の巻き方と乾電池のつなぎ方を選ぶ設問の正答率は、全国平均を10ポイント以上、上回る。</p> <p>● 振り子時計の軸に用いる適切な金属を選ぶ設問の正答率は、全国平均を6.5ポイント下回る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 電磁石やかん電池に関する学習をプリントやとちぎっ子学習状況調査の問題や市が行った学習内容定着度調査の問題で復習した成果が出た。今後も教師がプリント等を宿題に出して、学習の定着を図っていく。 授業で比較実験を行う際、実験方法を児童自身で考えさせることにより、条件を同じにする点や違える点をおさえさせる。
生命	<p>○ 平均正答率は69.3%で、全国平均より8.1ポイント上回る。その中でも、メダカのオスとメスの見分け方の設問と植物の成長の様子と日光の当たり方の設問の正答率は、全国平均を15ポイント以上、上回る。</p> <p>● 顕微鏡の名前を書く設問の正答率は、全国平均を8.5ポイント下回る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 授業で使用する実験器具の名前や使い方を個々に定着させるため、授業だけでなく学校生活の中で実験器具に多く接する場を設ける。 学校の周りの自然環境を活用し、動植物とふれ合う中で、生命に関する興味・関心を高めていく。
地球	<p>○ 平均正答率は、71.0%で、全国平均を13.2ポイント上回る。その中でも、夕方に見られる月の形を選ぶ設問と星座や雲の動きを選ぶ設問の正答率は、全国平均を15ポイント以上、上回る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 月の観察のように家庭で観察する場合、授業でDVDやインターネットを使って、観察や記録の仕方をおさえてから行わせる。また、観察後に結果をグループ等で考察させることで、定着を図る。